

第154回 埋蔵文化財セミナー

主催 京都府教育委員会・公益財団法人 京都府埋蔵文化財調査研究センター
後援 亀岡市教育委員会

群集墳の 成立と その背景

154th Maibun Seminar

古墳時代後期（6世紀）になると、府内各地で横穴式石室をもつ古墳が数多く築かれ、その中でも、群集墳と呼ばれる古墳群には、直径 10m前後の小さな墳丘をもつ古墳が多数密集して築かれています。特に亀岡市内には数多くの群集墳が存在します。

今回のセミナーでは、亀岡市内の群集墳の状況を紹介するとともに古代国家成立に詳しい菱田哲郎氏をお招きし、古墳時代後期にこれらの群集墳が成立した社会的背景を考える機会とします。

亀岡市法貴 56号墳

2024 **2.24** [土]
13:00-16:40
(開場 12:20)

ガレリアかめおか

2階 大広間1

京都府亀岡市余部町宝久保 1-1

入場
無料

申込
不要

報告 1

「曾我部町法貴古墳群・法貴北古墳群の発掘調査」
(公財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター 主任 竹村亮仁

報告 2

「亀岡市内の後期古墳」

亀岡市教育委員会歴史文化財課 主幹 土井孝則 氏

講演

「群集墳の造営と屯倉の成立」

京都府立大学文学部 教授 菱田哲郎 氏

座談会

「群集墳の成立とその背景」

亀岡市北ノ庄 14号墳